

味の素株式会社

2014年3月期決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2014年5月12日

取締役 常務執行役員 大野 弘道

1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2014/3期 実績	2013/3期 実績	増減額/率		2014/3期 通期予想 (2/14修正)	予想比	2014年 1~3月	2013年 1~3月	増減額/率	
			増減額	率					増減額	率
売上高	9,913	9,850	64	1%	10,230	97%	2,490	2,381	109	5%
国内食品	3,375	3,916	▲ 540	▲ 14%	3,383	100%	825	775	51	7%
海外食品	2,932	2,454	478	19%	3,162	93%	738	701	38	5%
バイオ・ファイン	2,285	2,042	243	12%	2,353	97%	616	579	38	7%
医薬	512	715	▲ 202	▲ 28%	490	105%	125	156	▲ 31	▲ 20%
その他	808	724	84	12%	842	96%	185	171	14	8%
営業利益	625	712	▲ 87	▲ 12%	620	101%	117	103	14	14%
国内食品	274	326	▲ 52	▲ 16%	266	103%	47	35	12	34%
海外食品	252	207	45	22%	253	100%	55	53	2	4%
バイオ・ファイン	65	144	▲ 78	▲ 55%	64	102%	15	30	▲ 15	▲ 50%
医薬	38	32	6	20%	33	116%	10	▲ 14	24	▲ 170%
その他	▲ 5	3	▲ 8	▲ 250%	4	▲ 122%	▲ 9	▲ 1	▲ 9	1,712%
経常利益	695	772	▲ 76	▲ 10%	680	102%	128	114	13	12%
当期純利益	428	484	▲ 56	▲ 12%	430	100%	57	▲ 61	118	▲ 195%
為替レート 円/USD	100.17	82.91			98.0					
円/ユーロ	134.21	106.78			131.0					

注) 1~3月実績は、通期実績と4~12月実績の差(以下のスライドも同様)

※2014年3月期より提携事業等の純額表示(売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法)導入に伴い以下の通り変更:

- ・対象: 国内食品の「調味料・加工食品」に含まれていたケロッグ製品、提携事業の「油脂」および「コーヒー類」
- ・旧「提携事業」セグメントを廃止。「油脂」「コーヒー類」を「その他」セグメントの「油脂・コーヒー」(純額表示)として組み換え。
- ・2013年3月期実績は上記変更を反映。(以下のスライドも同様)

1.(2) 決算のポイント

売上高はカルピス(株)株式売却影響あるも、換算為替のプラス影響等により増収。
営業利益は飼料用アミノ酸等の減益やカルピス(株)株式売却影響を他事業でカバー出来ず減益。

売上高・営業利益

(単位:億円)

2014/3期 通期	予想比	前年 増減		2014年 1~3月	前年 増減
9,913	97%	1%	売上高	2,490	5%
6,356	-	6%	売上原価	1,617	6%
2,932	-	▲6%	販管費	756	1%
625	101%	▲12%	営業利益	117	14%

1. 為替影響 (対前年)

換算為替では、
4-3月累計:売上高 728億円、営業利益 63億円
Q4:売上高 71億円、営業利益 1億円

主要法人の貿易為替は、
4-3月累計:売上高 約50億円、営業利益 約5億円
Q4:売上高 約15億円、営業利益 約10億円

2. 原燃料価格影響 (対前年)

4-3月累計:発酵原燃料約26億円、国内食品原材料▲約49億円
Q4:発酵原燃料約9億円、国内食品原材料▲約13億円

3. コストダウン (対前年)

4-3月累計:国内食品約33億円、医薬約12億円
Q4:国内食品約9億円、医薬約1億円

▲=損サイド

1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位:億円)

2014/3期 通期	予想比	前年 増減		2014年 1~3月	前年 増減
70	-	18%	営業外収支	10	▲8%
695	102%	▲10%	経常利益	128	12%

<通期> (前年比)

特記無し

<Q4> (前年比)

特記無し

純利益

(単位:億円)

2014/3期 通期	予想比	前年 増減		2014年 1~3月	前年 増減
86	-	▲82%	特別利益	*1 48	485%
49	-	▲81%	特別損失	*2 21	▲85%
231	-	▲50%	法人税等	*3 80	171%
74	-	11%	少数株主利益	17	5%
428	100%	▲12%	純利益	57	▲195%

<通期> (前年比)

*1 厚生年金基金代行返上益 2億円 (275億円減)

*1 関係会社株式売却益 23億円 (159億円減)

*2 減損損失 6億円 (139億円減)

*3 法人税等の減少要因 (227億円減)

・前年カルピス(株)株式売却益に対する税金発生

・営業利益減少および低税率地域の構成比拡大

・移転価格に関する税金の還付

< Q4 > (前年比)

特記無し

2. 財政状態

(単位:億円)

2014年3月末:総資産 10,917

流動資産 5,467	負債 4,322
固定資産 5,450	純資産 6,595
	内、少数株主持分 606

2013年3月末:総資産 10,917

流動資産 5,861	負債 4,000
固定資産 5,057	純資産 6,917
	内、少数株主持分 564

2014年3月末の総資産はほぼ前年並み

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2014/3	2013/3	増減
①営業活動によるCF	630	885	▲ 255
②投資活動によるCF	▲ 635	152	▲ 787
③財務活動によるCF	▲ 552	▲ 744	192
④現金および現金同等物の残高	1,300	1,848	▲ 547
FCF(①+②)	▲ 5	1,037	▲ 1,042

※▲はキャッシュアウト

設備投資	▲ 533	▲ 657	125
減価償却費	457	425	33

有利子負債

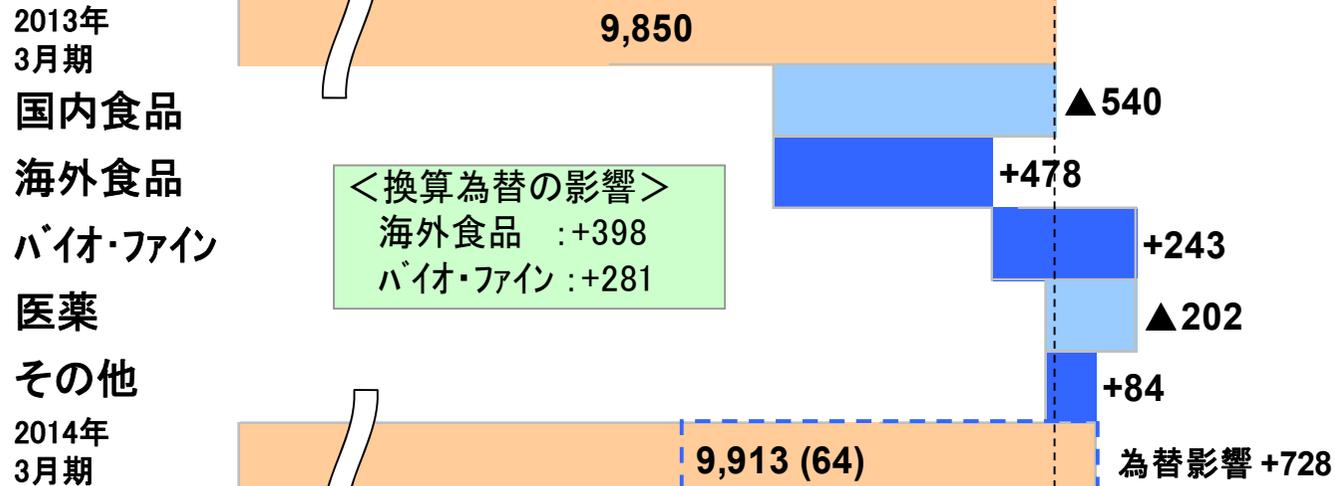
(単位:億円)

2014/3	2013/3	増減
1,430	1,193	236

3.(1) セグメント別増減

(単位:億円)

売上高



営業利益



3.(2) 国内食品事業

				〈参考〉 (単位:億円)			
2014/3期		2013/3期			2014年	2013年	
通期	予想比	通期	増減		1~3月	1~3月	増減
3,375	100%	3,916	▲ 540	売上高	825	775	51
2,174	-	2,174	▲ 0 *1	調味料・加工食品	532	498	34
1,201	-	1,148	54 *2	冷凍食品	294	277	17
0	-	594	▲ 594	飲料(「カルピス」)	0	0	0
274	103%	326	▲ 52 *3	営業利益	47	35	12
296	-	294	2	調味料・加工食品	56	47	9
54	-	75	▲ 21	冷凍食品	12	7	4
0	-	48	▲ 48	飲料(「カルピス」)	0	▲ 0	0
▲ 76	100%	▲ 91	15	全社共通費	▲ 21	▲ 19	▲ 2

*1カルピス(株)株式売却に伴う飲料ギフト終売等あるも、家庭用商品の前年度発売の新商品の貢献に加え消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響等もあり前年並み。

*2 国内販売は堅調、海外販売は北米の伸長と換算為替影響で大幅拡大し、全体として増収。

*3 調味料・加工食品は増益も、カルピス(株)株式売却影響、円安や原材料価格上昇等による冷凍食品の減益等により減益。

3.(3) 海外食品事業

2014/3期		2013/3期		増減		売上高		2014年		2013年		増減	
通期	予想比	通期						1~3月	1~3月				
2,932	93%	2,454		478		売上高		738	701		38		
2,418	-	1,993		425	*1	コンシューマーフーズ		606	571		35		
514	-	461		53	*2	加工用うま味調味料		132	129		3		
252	100%	207		45	*3	営業利益		55	53		2		
▲ 95	100%	▲ 80		▲ 14		全社共通費		▲ 28	▲ 24		▲ 4		

<換算為替の影響> 通期 売上高:+398、営業利益:+47
Q4 売上高:+21、営業利益:▲1

- *1 換算為替の影響、うま味調味料「味の素」、風味調味料、即席麺の販売数量増等により増収。
- *2 販売単価は下落するも、換算為替の影響とMSGの数量増により増収。
- *3 *1に伴うコンシューマーフーズの増益により、加工用うま味調味料の販売単価下落による減益をカバーし全体で増益。
参考:コンシューマーフーズ+75、加工用うま味調味料▲13

3.(4) バイオ・ファイン事業

2014/3期		2013/3期				2014年		2013年	
通期	予想比	通期	増減			1~3月	1~3月	増減	
2,285	97%	2,042	243		売上高	616	579	38	
941	97%	941	1	*1	飼料用アミノ酸	222	252	▲ 30	
861	-	667	194	*2	アミノ酸	281	215	65	
431	-	382	49	*3	化成品	101	96	6	
65	102%	144	▲ 78	*4	営業利益	15	30	▲ 15	
2	-	135	▲ 133		飼料用アミノ酸	▲ 5	30	▲ 35	
55	-	25	30		アミノ酸	26	6	20	
93	-	65	28		化成品	20	16	4	
▲ 68	105%	▲ 58	▲ 10		全社共通費	▲ 20	▲ 17	▲ 4	

<換算為替の影響> 通期 売上高:+281、営業利益:+9
Q4 売上高:+44、営業利益:+2

*1換算為替の影響あるも、販売単価の下落により前年並み。

*2 医薬用・食品用アミノ酸 +66、製薬カスタムサービス +116、甘味料 +12

*3 ケミカル、香粧品共に増収。

*4 アミノ酸・化成品で増益も、飼料用アミノ酸等の減益をカバー出来ず全体で減益。

参考:アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+20、製薬カスタムサービス▲0、甘味料+11



3.(5) 医薬事業

2014/3期		2013/3期				〈参考〉		(単位:億円)
通期	予想比	通期	増減			2014年 1~3月	2013年 1~3月	増減
512	105%	715	▲ 202	*1	売上高	125	156	▲ 31
38	116%	32	6	*2	営業利益	10	▲ 14	24
▲ 14	103%	▲ 19	5		全社共通費	▲ 4	▲ 5	1

*1 自社販売品は7月からのエイワイファーマ(株)への輸液・透析事業移管(約146億円)、医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)(約33億円)影響に伴い減収。

提携販売品は後発品を含む競合品伸長により減収。

味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」148億円(99%)

「エレンタール」77億円(100%)

「アテレック」146億円(97%)

「アクトネル」100億円(86%)

「ファスティック」18億円(74%)

*2 提携販売品の減収により減益も、オペレーション効率改善等により増益。

3.(6) その他事業

2014/3期		2013/3期				〈参考〉		(単位:億円)
通期	予想比	通期	増減			2014年 1~3月	2013年 1~3月	増減
808	96%	724	84	*1	売上高	185	171	14
23	-	22	1		油脂・コーヒー	6	5	0
▲ 5	-114%	3	▲ 8	*2	営業利益	▲ 9	▲ 1	▲ 9
22	-	21	1		油脂・コーヒー	5	5	0
▲ 30	96%	▲ 27	▲ 2		全社共通費	▲ 8	▲ 7	▲ 2

*1 医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)影響、エンジニアリング事業の受注増等で増収。

*2 健康ケア事業は増益も、物流事業の減益等により減益。

3.(7) 事業別・地域別売上高

※ 上段：2014年3月期実績、下段：2013年3月期実績
()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
国内食品	3,178 (▲576)	54 (▲4)	126 (37)	17 (4)	3,375 (▲540)
	3,755	58	89	13	3,916
海外食品	95 (▲1)	1,983 (333)	546 (97)	308 (49)	2,932 (478)
	96	1,650	449	259	2,454
バイオ・ ファイン	643 (71)	178 (25)	720 (84)	743 (64)	2,285 (243)
	572	153	636	680	2,042
医薬	512 (▲202)				512 (▲202)
	715				715
その他	712 (75)	96 (9)	1 (0)		808 (84)
	637	86	0		724
合計	5,140 (▲634)	2,311 (363)	1,393 (218)	1,069 (117)	9,913 (64)
	5,775	1,948	1,175	952	9,850

3.(8) 事業別・地域別営業利益

※ 上段:2014年3月期実績、下段:2013年3月期実績
()内は増減額

(単位:億円)

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
国内食品	315 (▲80)	19 (8)	14 (4)	4 (1)	▲ 77 (15)	274 (▲52)
	395	10	10	2	▲ 92	326
海外食品	▲ 13 (7)	295 (48)	75 (24)	▲ 7 (▲16)	▲ 98 (▲18)	252 (45)
	▲ 20	247	51	9	▲ 80	207
バイオ・ファイン	102 (55)	5 (▲17)	▲ 4 (▲70)	36 (▲36)	▲ 74 (▲11)	65 (▲78)
	47	22	66	72	▲ 63	144
医薬	53 (2)				▲ 14 (5)	38 (6)
	51				▲ 19	32
その他	18 (▲6)	9 (1)	0 (▲0)	1 (0)	▲ 33 (▲4)	▲ 5 (▲8)
	24	8	0	1	▲ 29	3
全社共通費等*	▲ 143 (10)	▲ 78 (▲12)	▲ 42 (▲8)	▲ 32 (▲4)	296 (13)	
	▲ 154	▲ 66	▲ 34	▲ 29	283	
合計	332 (▲12)	250 (29)	43 (▲50)	1 (▲54)		625 (▲87)
	344	221	93	55		712

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。

3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2014年3月期 対前年同期増減

1. 海外食品

日本:+7、アジア:+48、米州:+24、欧州: ▲ 16、地域外*: ▲ 18 計 +45億円

アジア 換算為替影響、コンシューマーフーズの増収で増加。

2. バイオ・ファイン

日本:+55、アジア: ▲17、米州: ▲70、欧州: ▲36、地域外*: ▲11 計▲ 78億円

日本 化成品、アミノ酸等で増加。

米州 飼料用アミノ酸等で減少。

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。

FY2011-2013 中期経営計画 構造目標レビュー

「構造強化」は順調に進展しているが、「成長」の成果創出は途上

		定性評価	指標	2010年度 実績	11-13中計 目標	2013年度 実績
1 成長 ドライバー の育成	グローバル 成長	<ul style="list-style-type: none"> 海外食品はASEAN・南米で伸長し、新興国での拠点拡大を実施 バルク3事業*1が苦戦 	海外売上比率 海外利益比率	31% 53%	35% 56%	48% 47%
	R&Dの リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 全社戦略テーマへ継続的に資源投入し、事業化の芽が出始めている 	将来の成長を担う 全社戦略テーマへの R&D費投入比率	—	40%	45%
	量から 付加価値へ	<ul style="list-style-type: none"> 構造改革により収益構造を転換 スペシャリティ化の追求により付加価値型への更なる転換を実施中 	営業利益 営業利益率 付加価値型事業比率*2	694億円 5.7% 70%	870億円 ~7% 80%以上	625億円 6.3% 100%
2 事業構造 強化	利益から キャッシュへ	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資抑制によりFCFを創出 成長に向けたM&A積極活用 	フリー キャッシュフロー	668 億円/年	400 億円/年	▲5 億円/年
	資本効率視点を 高め、株主 価値の向上へ	<ul style="list-style-type: none"> 純利益率改善、自己資本圧縮によりROEは順調に改善するも目標未達 	ROE	5.0%	8%	7.1%
3 基盤構築	グローバル 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材ミックスの進展 グループ人事プラットフォーム構築 「味の素グループWay」研修実施 	海外法人役員の 現地化比率	34%	50%	40%

1) バルク3事業: 加工用うま味、甘味料、飼料用アミノ酸

2) 付加価値型事業比率: バルク3事業以外の営業利益構成比

FY2014より販促値引き等を、SGA計上ではなく売上より控除する方式に変更。
また、当該処理は支払金額確定時ではなく、売上計上時に見積り計上を行う。

<販促値引き等の表示の変更>

- FY2013まで 販売手数料として計上
FY2014より 売上高から控除
- FY2013実績での影響額(※)
売上高 ▲393億円
営業利益 0億円
- 大きな影響のある事業は国内食品・家庭用だが、
海外コンシューマーフーズ、甘味料、
その他(健康ケア食品)にも影響あり。

※ FY2013実績の組み替え後数値は監査未了であり、加えて新方式による遡及処理が一部未了である為、変動する可能性があります。確定値は第1四半期決算発表時に公表する予定です。

<販促値引き等の計上タイミングの変更>

FY2013まで 支払金額確定時に計上
FY2014より 売上計上時に見積り計上



Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。